



令和6年9月11日
内閣府政策統括官（防災担当）

令和6年防災功労者防災担当大臣表彰の受賞者決定について

標記について、別添のとおり受賞者が決定しましたのでお知らせします。

※ 防災功労者防災担当大臣表彰は、災害時の防災活動の実施、防災思想の普及又は防災体制の整備の面で貢献し、特にその功績が顕著であると認められる団体又は個人を対象として表彰するものです。

【本件問合せ先】

内閣府政策統括官（防災担当）付

参事官（総括担当）付 唐戸、中川、中村

電話：03-3593-2844（直）FAX：03-3503-5690

令和6年 防災功労者防災担当大臣表彰受賞者名簿

○ 個人

〔防災体制の整備〕

阪本真由美

(兵庫県)

加納 秀記

(愛知県)

〔防災思想の普及〕

齊 藤 浩

(青森県)

○ 団体

〔防災体制の整備〕

舘矢間地区協議会及び牛橋区自主防災会

(宮城県)

片品村・片品村自主防災会

(群馬県)

社会福祉法人 榛東村社会福祉協議会

(群馬県)

千葉県災害対策コーディネーター茂原

(千葉県)

稲永学区連絡協議会

(愛知県)

南陽学区連絡協議会

(愛知県)

乾隆学区自主防災会

(京都府)

下市自主防災会

(京都府)

王寺町防災士ネットワーク

(奈良県)

小林ハイツ自主防災防犯会

(奈良県)

木本地区防災会

(和歌山県)

倉吉市赤十字奉仕団

(鳥取県)

〔防災思想の普及〕

大治南小学校

(愛知県)

檀木団地自主防災会

(愛知県)

鳥取県建築士会女性委員会

(鳥取県)

国府地区自主防災連合会

(徳島県)

多家良・八多地区自主防災連合会

(徳島県)

西富田地区自主防災会連絡協議会

(徳島県)

くすばし少年消防クラブ

(福岡県)

かしま防災サポーターズクラブ

(佐賀県)

以上、23件(3個人、20団体)

功 績 概 要

個人 [防災体制の整備]

推 薦 者	内 閣 府
ふ り が な 氏 名	さかもと まゆみ 阪本 真由美
住 所	兵庫県神戸市
職 業	兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科 教授
功 績 の 概 要	<p>氏は、兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科教授として、防災危機管理等を専門としており、学術的な知見をいかして、コミュニティの防災活動の強化のための支援活動を行い、地域防災力の強化に取り組んでいる。</p> <p>これまで、内閣府の地区防災計画アドバイザーボード、避難生活の環境変化に対応した支援の実施に関する検討会、中央防災会議南海トラフ巨大地震対策検討ワーキンググループ、内閣官房ナショナル・レジリエンス（防災・減災）懇談会等の委員を務めている。</p> <p>特に、避難生活の環境変化に対応した支援の実施に関する検討会においては、座長として知見の提供、助言等を行ってきた。また、地区防災計画アドバイザーボードにおいては、各地区における計画策定の促進に寄与した。</p> <p>以上のように、氏は、各種委員として国の防災行政をはじめとした各般の防災対策検討の場において先導的な立場を担うとともに、今現在も国民の防災意識向上に資する活動に精力的に携わり、活動等を通じて地域ないしは国全体の防災力の向上に貢献した者として、その功績は顕著である。</p>

功 績 概 要

個人 [防災体制の整備]

推 薦 者	愛 知 県
ふ り が な 氏 氏 名	かのう ひでき 加納 秀記
住 所	愛知県名古屋市
職 業	愛知医科大学病院 救急診療部 教授
功 績 の 概 要	<p>氏は、平成24年に設置された愛知県災害医療コーディネーターに就任し、災害医療体制の確立に向けて指導的立場で取り組んでいる。</p> <p>また、厚生労働省DMAT（災害派遣医療チーム）では、全国のDMAT活動において活躍している。東日本大震災をはじめ震災、台風被害、新型コロナ対策など災害医療活動を行った。中部国際空港においての航空機事故の訓練計画について平成24年から指導的立場で取り組んでいる。</p> <p>特に震災を始めとする災害時の急性期から災害医療・保健福祉に関して県・市町村と医師会、医療機関、保健所が、医療福祉における支援団体などと連携できるように調整本部を設置することに尽力し、熊本、北海道胆振、能登半島の震災時や、令和元年の台風被害における保健医療福祉調整本部の立ち上げに関わり、災害医療のみならず保健福祉における体制構築に貢献した。</p>

功 績 概 要

個人 [防災思想の普及]

推 薦 者	青 森 県
ふ り が な 氏 氏 名	さいとう ひろし 齊藤 浩
住 所	青森県八戸市
職 業	八戸地域防災協会会長
功 績 の 概 要	<p>氏は、昭和55年から八戸地域広域防火管理者協会において、消火器の寄贈設置、防災に関する講習会や研修会などを精力的に行い、平成20年に八戸地域防災協会が統合設立された際は監事、平成26年からは副会長として先導的な立場を担ってきた。令和元年に会長へ就任後も、災害のない安全・安心な地域づくりを推進するため、会員相互が協力し各種事業を行える環境づくりのほか、幼年・少年・女性消防クラブの育成強化への助成を行うなど、氏の長きに渡る精力的な活動が、地域全体における防災思想の普及高揚に多大な貢献をしている。</p>

功 績 概 要

団体 [防災体制の整備]

推 薦 者	宮 城 県
ふ り が な 名 称	たてやまちくきょうぎかいおよびうしばしくじしゅぼうさいかい 館矢間地区協議会及び牛橋区自主防災会
所 在 地	宮城県伊具郡丸森町 宮城県亘理郡山元町
代 表 者 (団体での職名)	館矢間地区協議会長 <small>かわむら けんじ</small> 川村 賢司 牛橋区自主防災会会長 <small>さいとう ともひろ</small> 齋藤 智博
功 績 の 概 要	<p>館矢間地区協議会及び牛橋区自主防災会は、台風等の大雨時の河川の氾濫による浸水被害と地震による津波という異なる災害リスクを抱える両地区が、災害時相互援助に関する協定の締結をしたことで、両地区の防災体制、住民の安心安全を大きく向上させた。</p> <p>これまでの避難に対する考えとして、地区内や町内に避難することが根底にあり、避難所不足に対する不安感があったが、両地区による協定により、広域避難の考えが住民に浸透した。</p> <p>また、協定に基づいた訓練により両地区の交流が図られたことで、災害時における連携に厚みが増した。そのため、この協定による両地区の体制は、非常時の相互援助のみに留まらず、減災につながる大きな要素といえる。</p>

功 績 概 要

団体 [防災体制の整備]

推 薦 者	群 馬 県
ふ り が な 名 称	かたしなむら・かたしなむらじしゅぼうさいかい 片品村・片品村自主防災会
所 在 地	群馬県利根郡片品村
代 表 者 (団体での職名)	片品村長 <small>うめざわ</small> 梅澤 <small>ゆきひろ</small> 志洋
功績の概要	<p>片品村の地形は河川と山（急傾斜地等）に挟まれた場所に多くの地区（集落）が形成されており、地区によって異なる災害リスクを抱えていたことから村一律の防災計画で対応することが難しい状況であった。</p> <p>片品村・片品村自主防災会は、令和4年度尾瀬かたしなエリアゼロカーボンパーク登録を機に宣言された「片品村5つのゼロ宣言2050」の柱である自然災害による死者ゼロを目指し行動を開始したことを受け、同年片品村地区防災計画を村内全32地区において個別計画を策定し、地域の防災体制の整備を推進した。</p>

功 績 概 要

団体 [防災体制の整備]

推 薦 者	群 馬 県
ふ り が な 名 称	しゃかいふくしほうじん しんとうむらしゃかいふくしきょうぎかい 社会福祉法人 榛東村社会福祉協議会
所 在 地	群馬県北群馬郡榛東村
代 表 者 (団体での職名)	会長 <small>かない すけのり</small> 金井 佐則
功 績 の 概 要	<p>社会福祉法人榛東村社会福祉協議会は、令和3年度に市町村の努力義務となった個別避難計画の作成について、住民主体の活動として平成19年度からの取組である「住民支え合いマップづくり」と連動して実施している。</p> <p>災害から命を守り、安心して暮らし続けるため、顔の見える関係作りや地域ぐるみの支え合いの体制を作り、地域課題の共有のほか、福祉避難所への速やかな避難が行えるよう地域全体で支える仕組みを構築した。</p> <p>令和4年度には、モデル自治会で避難訓練を実施し、個別避難計画に定められた福祉避難所への避難支援を行った。訓練を検証した後、福祉施設との要支援者情報の共有と直接避難体制を構築した。</p> <p>このほか、以下のような取組を長年実施するなど、地域ぐるみの活動を推進した。</p> <p>(1) 安心カード設置事業 (平成22年11月～) 独居老人や高齢者世帯等の医療情報を設置家庭の冷蔵庫内にプラスチック容器に入れ保管し、事前に消防本部との設置者情報共有により救急要請の際には、隊員がこれを確認し速やかな救急搬送を行っている。</p> <p>(2) 防災ボランティアの消防救助活動 (平成25年5月～) 消防団員不足を補うため、防災ボランティア (消防団O B) を組織化し、火災発生時等には会員が出動し消防団員と共に消防救助活動を行っている。</p>

功 績 概 要

団体 [防災体制の整備]

推 薦 者	千 葉 県
ふ り が な 名 称	ちばけんさいがいたいさくこーでいねーたーもばら 千葉県災害対策コーディネーター茂原
所 在 地	千葉県茂原市
代 表 者 (団体での職名)	会長 <small>すずき まさかず</small> 鈴木 政一
功 績 の 概 要	<p>千葉県災害対策コーディネーター茂原は、市内のみならず県内各地、他市町村が開催する災害対策コーディネーター養成講座の支援活動等を行っている。また、市主催の地域防災訓練や社会福祉協議会のボランティアセンター設置運営訓練にも継続的に参加。住民と行政のパイプ役を担うことを目的に掲げ地域防災力向上に貢献している。</p>

功 績 概 要

団体 [防災体制の整備]

推 薦 者	愛 知 県
ふ り が な 名 称	いなえいがつくれんらくきょうぎかい 稲永学区連絡協議会
所 在 地	愛知県名古屋市
代 表 者 (団体での職名)	会長 伊藤 克典 <small>いとう かつのり</small>
功 績 の 概 要	<p>稲永学区連絡協議会は、災害対策委員のサポーターとして、各町内から災害対策委員とは別に災害対策女性委員（独自制度）を平成29年度より選出している。</p> <p>また、災害時の高齢者の孤立を防ぐため、若者と高齢者の日常的な関係作りが必要であると考え、中学校と連携し、地域交流を深める活動を実施するなど、独自の活動で地域防災力の向上に寄与している。</p>

功 績 概 要

団体 [防災体制の整備]

推 薦 者	愛 知 県
ふ り が な 名 称	なんようがつくれんらくきょうぎかい 南陽学区連絡協議会
所 在 地	愛知県名古屋市
代 表 者 (団体での職名)	会長 <small>かとう かずまさ</small> 加藤 和政
功 績 の 概 要	<p>南陽学区連絡協議会は、平成30年に名古屋市で初めて小学校区域全体での「無事ですカード」（安否確認札）を活用した安否確認訓練を実施。以降、毎年防災訓練の一項目として小学校区域全体での安否確認訓練を実施している。地域全域での安否確認体制づくりに継続的に取り組んでおり、地域防災力の向上に寄与している。</p>

功 績 概 要

団体 [防災体制の整備]

推 薦 者	京 都 府
ふ り が な 名 称	けんりゅうがっくじしゅほうさいかい 乾隆学区自主防災会
所 在 地	京都府京都市
代 表 者 (団体での職名)	会長 <small>わたなべ ゆたか</small> 渡邊 豊
功 績 の 概 要	<p>乾隆学区自主防災会は、大地震等の災害発生時において予測される被害を軽減すべく、災害が起こる前から地域が主体となって災害に強いまちをつくる「防災まちづくり」に、令和3年度から取り組んでいる。また、「乾隆防災MAP」の学区内全戸への配布をはじめ、住宅用火災警報器の共同購入、「防災まちあるき」及び意見交換、防災まちづくりに関する町内会アンケートの実施など、長年に渡り地域が主体となった多岐に渡る活動を継続的に行っており、様々な活動の結果は、乾隆学区まちづくりニュースの発行や、「乾隆学区防災まちづくり」の各自主防災部への配布など、刊行物として地域にフィードバックされている。さらに、コロナ禍で活動が制限された期間中であっても、防災訓練に代わる事業として、自主防災部長を対象とした研修の開催や、事業所との防災協定の締結など、地域の防災力を高める取組を途切れることなく行っており、令和6年度は、「乾隆学区防災まちづくり」計画の具体化が予定されている。</p> <p>以上のおおりに、乾隆学区自主防災会は、地域の防災力を向上させる取組を積極的かつ継続的に行っている。</p>

功 績 概 要

団体 [防災体制の整備]

推 薦 者	京 都 府
ふ り が な 名 称	しもいちじしゅぼうさいかい 下市自主防災会
所 在 地	京都府綾部市
代 表 者 (団体での職名)	会長 <small>きゅうき やすひろ</small> 久木 康弘
功 績 の 概 要	<p>下市自主防災会では、平成30年西日本豪雨災害で、地域の集落内で浸水被害が発生した教訓をもとに、災害時に迅速かつ適切な避難行動が行えるよう、地域を挙げて水害等避難行動タイムラインの作成に取り組んだ。</p> <p>その結果、令和5年台風第7号災害では、豪雨により再び地域の集落内で浸水被害が発生したものの、自治会の役員が中心となり、早期から地域住民に避難を呼びかけるなどの水害等避難行動タイムラインに沿った避難行動を行ったことにより、人的被害は発生しなかった。</p> <p>また、下市自主防災会では、令和5年台風第7号災害における経験を踏まえ、地域で協力して事前に水害等避難行動タイムラインを作成するなどの平時からの災害に対する備えの重要性について、周辺の自治会にも広めていくことで、綾部市における地域防災力の向上にも貢献している。</p>

功 績 概 要

団体 [防災体制の整備]

推 薦 者	奈 良 県
ふ り が な 名 称	おうじちょうぼうさいしねっとわーく 王寺町防災士ネットワーク
所 在 地	奈良県北葛城郡王寺町
代 表 者 (団体での職名)	会長 <small>いけだ おきひと</small> 池田 興仁
功 績 の 概 要	<p>王寺町防災士ネットワークは、防災士個人のスキルアップに限らず、防災士同士のネットワークを築き、平常時は町民への防災意識の啓発及び自主防災活動への活動支援で地域の防災力を向上させ、発災時は町と連携しながら避難所運営などに取り組むことを目的としている。</p> <p>現在は町内団体・防災会などを対象に、地区計画の策定支援や避難訓練の補助支援を行い、町の防災力の向上に貢献している。また、町の広報紙での広報活動を行い、町民の防災意欲の向上に貢献している。</p>

功 績 概 要

団体 [防災体制の整備]

推 薦 者	奈 良 県
ふ り が な 名 称	こばやしはいつじしゅぼうさいぼうはんかい 小林ハイツ自主防災防犯会
所 在 地	奈良県生駒郡斑鳩町
代 表 者 (団体での職名)	会長 堀 すすむ
功 績 の 概 要	<p>小林ハイツ自主防災防犯会は、通常の自主防災活動を精力的に行うだけではなく、町主催の防災訓練等へ積極的に参加しスキルアップに努め、コミュニティ助成事業等を活用し防災資機材の整備を計画的に進めるなど、他の自主防災組織の活動の模範となるものである。</p> <p>令和4年度には、同会の会長が斑鳩町防災会議委員に任命され、町防災計画の見直しに貢献された。</p> <p>また、活動は自治会内に留まるだけではなく、同会の会員複数名が立上げメンバーの一員となり、斑鳩町内の自主防災組織間の連携強化を目的に「斑鳩町自主防災連絡会」を令和5年度に結成され、同会の会長が、同連絡会の会長に就任されており、他の自主防災組織の活動の支援や、自主防災組織が未設立の自治会への設立支援等に尽力している。</p>

功 績 概 要

団体 [防災体制の整備]

推 薦 者	和 歌 山 県
ふ り が な 名 称	きもとちくぼうさいかい 木本地区防災会
所 在 地	和歌山県和歌山市
代 表 者 (団体での職名)	会長 <small>なかに</small> 中谷 <small>としあき</small> 壽昭
功 績 の 概 要	<p>木本地区防災会は、地理情報システム（GIS）を活用した木本地区防災マップをweb上で公開し、それを活用した大規模避難訓練を実施するなど、地区の防災力及び地区住民の防災意識の向上につなげる試みを行い、安心・安全に暮らせるまちづくりに多大な貢献をしている。</p>

功 績 概 要

団体 [防災体制の整備]

推 薦 者	鳥 取 県
ふ り が な 名 称	くらよしせきじゅうじほうしだん 倉吉市赤十字奉仕団
所 在 地	鳥取県倉吉市
代 表 者 (団体での職名)	委員長 <small>なか い ひでお</small> 中井 秀雄
功 績 の 概 要	<p>倉吉市赤十字奉仕団は、実際の災害時を想定した大人数の非常食炊き出し指導や防災セミナーを通して、地域住民の自助・共助の意識の高揚を図っており、災害発生時に活動できる人材育成に大きく貢献している。また、行政や社会福祉協議会・地域の自主防災組織等と炊き出し訓練に関するデータや避難所の情報等を共有し、日ごろから災害時に備えた関係性づくりが図られている。さらに赤十字精神の普及活動や献血運動、災害救助に関する奉仕等のボランティア活動を継続されており、その功績は多大である。</p>

功 績 概 要

団体 [防災思想の普及]

推 薦 者	愛 知 県
ふ り が な 名 称	おおはるみなみしょうがっこう 大治南小学校
所 在 地	愛知県海部郡大治町
代 表 者 (団体での職名)	校長 <small>きとう</small> 鬼頭 <small>ともみ</small> 知生
功 績 の 概 要	<p>大治南小学校は、未来に起こりうる災害に備えるため、定期的な避難訓練の他、独自の取組として、「自分の命を守り、助け合って生き抜くことができる児童の育成」をテーマに「校舎内の危険箇所の確認」や、「防災かるた」、「ゲリラ豪雨の原因」の授業など、防災・減災を題材にした活動を令和2年度に実施している。</p> <p>また、児童に対し、防災・減災の基本的知識を伝える機会を創出できないか、同小学校から大治町防災危機管理課に提案があったことがきっかけで始まった「防災教育」は、4～6年生の学年ごとにテーマを分け、災害図上訓練(DIG)や、町ハザードマップを実際に見ながら地域の特性と起こりうる災害について学び、避難所の模擬体験を通して、町内の避難所の場所や仕組みを学習するなど、当校との調整のもとで令和2年度から実施しており、これまでで述べ約1,100人の児童が防災教育を受講している。</p> <p>以上のことから、同小学校は、児童が災害時に命を守るための行動が取れるよう、防災・減災の知識や意識を日常から身に付ける体制を確立しており、町の防災思想の普及面で貢献している。</p>

功 績 概 要

団体 [防災思想の普及]

推 薦 者	愛 知 県
ふ り が な 名 称	しゅもくだんちじしゅぼうさいかい 榎木団地自主防災会
所 在 地	愛知県日進市
代 表 者 (団体での職名)	会長 <small>おおの ただお</small> 大野忠夫
功 績 の 概 要	<p>榎木団地自主防災会は、定期的な総会の開催や防災会だよりの発行、各組長による避難時要援護者調査及び各家庭の家族構成調査、また家族構成調査に基づく安否確認調査票の作成など地域防災力向上のため様々な活動を行ってきた。</p> <p>令和2年度からは新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、毎年開催していた防災訓練を中止し、代替として家具転倒防止金具や漏電防止具、非常持ち出し品といった防災品の展示会を開催し、地域住民に災害への備えについて考えてもらう機会を設けた。コロナ禍において活動自粛を余儀なくされる防災会が多い中、創意工夫を凝らし住民の防災意識の高揚に努めていることは他の模範と認められる。</p> <p>また、令和5年度以降は従来の避難訓練を再開するとともに引き続き展示会も開催し、地域住民の防災意識のさらなる向上に寄与している。</p>

功 績 概 要

団体 [防災思想の普及]

推 薦 者	鳥 取 県
ふ り が な 名 称	とっとりけんけんちくしかいじょせいいいんかい 鳥取県建築士会女性委員会
所 在 地	鳥取県鳥取市
代 表 者 (団体での職名)	委員長 <small>うちだ けいこ</small> 内田 恵子
功 績 の 概 要	<p>鳥取県建築士会女性委員会は、平成12年の鳥取県西部地震・平成28年の鳥取県中部地震の被災経験を活かし、平成20年より継続して地域に出向き、避難所運営ゲーム（HUG）や災害図上訓練（DIG）のワークショップを通じて、幅広い世代・住民を対象に防災知識の普及啓発に取り組んでいる。ワークショップは、時事問題を取り入れたり、動画・効果音・実際の学校図面を用いたりする等の身近に災害をイメージできるよう工夫されており、地域住民の防災思想の普及に大きく貢献している。</p>

功 績 概 要

団体 [防災思想の普及]

推 薦 者	徳 島 県
ふ り が な 名 称	こくふちくじしゅぼうさいれんごうかい 国府地区自主防災連合会
所 在 地	徳島県徳島市
代 表 者 (団体での職名)	会長 ばんどう たけし 坂東 武
功 績 の 概 要	<p>国府地区自主防災連合会は、結成当初から、連合会長が地域の防災リーダーとして遺憾なくリーダーシップを発揮し、副会長及び各自主防災会長等と協力して、地域全体の防災思想の普及啓発のため、毎年計画的に訓練及び研修会を開催し、地域防災力の向上に努めている。</p> <p>また、常日頃から率先して防災知識及び技術の普及啓発に努め、地域防災力の向上に熱心に取り組み、地域の関係機関と連携強化を図るため、消防、学校、社会福祉施設等と合同で訓練を実施し、常に地域防災力の向上に多大な貢献をしている。</p> <p>このように長年にわたる活動は、誠に顕著であり他の模範となるものである。</p>

功 績 概 要

団体 [防災思想の普及]

推 薦 者	徳 島 県
ふ り が な 名 称	たから・はたちくじしゅぼうさいれんごうかい 多家良・八多地区自主防災連合会
所 在 地	徳島県徳島市
代 表 者 (団体での職名)	会長 <small>にしかわ</small> 西川 <small>よしのり</small> 義則
功 績 の 概 要	<p>多家良・八多地区自主防災連合会は、平成26年結成当初より、防火・防災に関する様々な防災訓練を定期的を実施し、年1回発行される「多家良中央コミセンだより」への寄稿など地域に密着した活動を継続的に行っている。</p> <p>定期的を実施している防災訓練では、倒木切断やロープワークなど実際の災害を想定した体験型訓練をはじめ、災害の基礎知識講座では様々な映像を視聴するなど地域の防災意識を高めるとともに、サバイバル飯作り体験など参加者の興味を惹く活動も多く取り入れ、地域の人々に寄り添った活動は地域防災に大きく貢献し、他の模範となるに相応しいものである。</p>

功 績 概 要

団体 [防災思想の普及]

推 薦 者	徳 島 県
ふ り が な 名 称	にしとみだちくじしゅぼうさいかいいんらくきょうぎかい 西富田地区自主防災会連絡協議会
所 在 地	徳島県徳島市
代 表 者 (団体での職名)	会長 <small>おおで あきら</small> 大出 昭
功 績 の 概 要	<p>西富田地区自主防災会連絡協議会は、いつ発生するか分からない災害に備え年間を通して訓練計画を立て、防災意識を高く持ち積極的に訓練を実施しており、訓練では、防災マップを活用した避難経路の確認や実際に避難経路を歩き確認する実践訓練に努め、避難所の設営や運営の検討会を何度も実施し、様々な想定の実訓練も行っている。</p> <p>また、毎年実施されているこどもの日のイベント、コミュニティセンターまつりでの活動や保育所との合同避難訓練を実施し、子どもたちや子育て世帯にも参加してもらえるような活動も積極的に行い、幅広い年齢に周知している。</p> <p>このような活動を行う自主防災組織を有する西富田地区は、自助共助の精神をもった災害に強い町であると考えられ、同協議会の活動は、他の模範となる。</p>

功 績 概 要

団体 [防災思想の普及]

推 薦 者	福 岡 県
ふ り が な 名 称	くすばししょうねんしょうぼうくらぶ くすばし少年消防クラブ
所 在 地	福岡県北九州市
代 表 者 (団体での職名)	委員長 <small>あおやぎ まさあき</small> 青柳 正明
功 績 の 概 要	<p>くすばし少年消防クラブは、地域の防災訓練や各種行事に積極的に参加するなど、地域住民や各関係機関からその活動を高く評価されている。昨年10月に、これまでの消防分団と連携した地域活動が高く評価され、消防庁等が主催する「地域消防力充実強化大会 in 福岡」において、活動事例発表を行った。</p> <p>また、本クラブに所属していたクラブ員が退会（高校卒業）後、地元の消防団へ入団するなど、地域防災の担い手の育成にも寄与しており、このような少年消防クラブの指導・育成体制は他都市の模範となっている。</p>

功 績 概 要

団体 [防災思想の普及]

推 薦 者	佐 賀 県
ふ り が な 名 称	かしまぼうさいさぼーたーずくらぶ かしま防災サポーターズクラブ
所 在 地	佐賀県鹿島市
代 表 者 (団体での職名)	代表 藤家 耕子
功 績 の 概 要	<p>かしま防災サポーターズクラブは、2017年8月設立後、防災・減災の思想を普及するために、持続的な活動を行ってきた。特に、小学校や地区の民生委員、老人クラブなどといった多様な団体、年齢層への出前講座を実施している。また、令和2年と令和5年に発生した大雨の際には、鹿島市だけでなく、市外や県外各地で精力的に災害支援のボランティア活動を行った。そのボランティア活動や研修会で得た知識・経験を基に、市民向けに出前講座や講演会を開催し、防災・減災の思想の普及に尽力している。その他、防災研修会への積極的な参加や食生活改善推進協議会など他団体との連携による講習会を実施している。</p> <p>このような活動や取組は、地域の防災リーダーとして役目を十分に担い、地域防災力の向上に著しく貢献している。</p>